

## 1 研究の説明書

### 「非侵襲的脳機能計測法(無害な計測法)を用いた高次認知機能における 加齢や障害に関わる発達的变化の研究」 についての研究協力のご依頼

本説明書によって、研究の目的、方法などについてご説明させていただいた上で、同意文書によって参加するかどうかの意思を確認させていただきます。分からない点がありましたら、遠慮なくご質問下さい。

#### 研究の目的

わたしたちが読書に集中したり、何か大切なことを決断するような時には、脳の一番前にある前頭葉というところが重要な役割をしております。この前頭葉は、加齢とともに働きが弱くなることが知られています。また、発達障害の原因の一つに、前頭葉の機能の障害が考えられています。しかし、一生涯を通してどのように変化するのは未だよく分かっておりません。そこで、この研究では、様々な年齢の方々の前頭葉のはたらきを調べ、どのように前頭葉が変化してゆくのかを明らかにすることを目的としております。

今回使用する装置は、痛みや体に全く害のないものを使用します。

この研究の成果として、将来的に加齢や発達障害に関わる前頭葉の働きの変化を予測することができれば、様々な予防法の開発につながるものと期待できます。

#### 方法

【実験内容と流れ】 全体で 60 分程度

(□にチェックのついた項目のみ実施予定。合計時間は組み合わせによって異なる。)

実験内容の説明と同意 (約 5 分)

日常生活などに関する簡単な質問紙 (約 20 分)

行動指標測定 (約 20 分)

脳機能測定 (約 10 分)

※上記の所要時間には、休憩時間も含まれます。各種検査・実験の合間に休憩を入れ、その他にもお申し出の都度、休憩もしくは中止することができます。

#### ・脳機能測定の説明

椅子に座り、目の前のパソコンの画面に提示される問題に取り組んでいる際の頭の働きを調べます。頭にハチマキのように脳の働きを調べる装置 (NIRS) を装着します。(痛みや体に害は全くございません)

また実験を実施するにあたり、参加者の方と実験者の間で、以下の点について合意・確認することによって皆さまに安心して実験に参加して頂きたいと考えております。

- ① 実験の目的、皆さまに行って頂く課題の内容の説明を必ず事前に行います。この説明によって皆さまの理解と実験参加への最終承諾を得た場合にのみ実験を開始します。
- ② 実験に関して不審な点、不安を感じる点があれば、いつでも実験を中断し実験者に説明を求めることができます。また納得が得られるまで実験の遂行を中断することができます。ただし質問が実験の内容や目的に関する場合で、それに回答することが実験の結果に影響を及ぼすと実験者が判断した場合には、即答せずに実験終了後に説明させて頂く場合があります。
- ③ この研究で用いる検査は、体を傷つけず、痛みや危険を伴わないため、健康被害は生じにくいといえます。実験や調査は、個人に合わせて休憩を挟みながら実施します。体調がすぐれない場合は、いつでも実験を中止できます。ただし、もしこの研究に参加したことが直接の原因となって健康被害（怪我や疲労による身体的症状）が生じた場合は、直ちに実験を中断し、あなたの健康保険の適用下で適切な処置がなされるようにいたします。但し、治療費の負担は保険診療の適応内でご自身によって行われることをご了承ください。
- ④ 皆さまが本実験への参加に同意された後でも、いつでも自由にそれを取り消すことができます。実験をとりやめても、皆さまになんら不利益となることはありません。ただし、実験結果を論文や口頭発表などで外部へ公表した後は取り消せませんのでご注意ください。
- ⑤ 皆さまの個人情報、当研究室で厳重に保管し外部には一切公表いたしません。皆さまから申し出があった場合には、個人情報とデータを速やかに破棄します。ただし、実験結果を発表した後や、参加者の皆さまが結果の取り下げを申し出た場合にも取り消しできない場合がありますのでご注意ください。  
また、実験結果を発表する際には、氏名の代わりに記号を使用し個人を特定できないようにします。
- ⑥ 実験終了後は得られたデータは学術雑誌が規定する必要な期間は保管したのち、紙媒体の資料についてはシュレッダーを用いて廃棄します。および電子データについても復元できない形で適切に廃棄します。

ご質問・ご意見等ございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。

（研究代表者）熊本大学大学院人文社会科学研究所 准教授 安村 明

（連絡先） 電話 096 (342) 2845（研究室直通）